

Press Release

アズビル金門、藤和那須リゾート株式会社において、 「水資源の管理」のサービスを提供開始～同社が目指す利用者の満足度向上に貢献～

azbil グループのアズビル金門株式会社（本社：東京都豊島区北大塚 1-14-3 社長：上西正泰）は、藤和那須リゾート株式会社（本社：栃木県那須郡那須町、代表取締役社長：雪本智史）が運営する「那須ハイランド」敷地内で、当社クラウドサービスを活用した「水資源の管理」を支援することになりましたのでお知らせします。

当社のクラウドサービスは、水道メーターに LPWA 無線通信装置を接続して、検針値を Web コンテンツで提供するクラウドサービスで、無線通信により各メーター設置場所まで出向くことなく毎日の検針を行うことができ、検針結果の管理といった業務の効率化が可能となるサービスです。

半世紀にわたり大切に育まれてきた「那須ハイランド」は、総面積約 800 万 m²（東京ドーム約 170 個分）、総区画数 5000 区画という広大な面積を有し、春は眩い新緑、夏は清涼の避暑地、秋は紅葉の絶景、冬の雪景色と様々なリゾートライフが楽しめる伝統と現代的な雰囲気融合した総合リゾートエリアです。

同社は、以前から広大な敷地内の建屋や各設備にある水道メーターの設置場所まで巡回点検する検針業務の労力削減を課題としておりました。当社のクラウドサービスにより、移動のための労力を削減でき、冬期においては積雪等で検針困難な状況においても、容易に検針を行うことが可能となります。また、毎日検針の実現により、使用料金の透明性、信頼性も向上し、施設内における異変（漏水や盗水）等の早期発見も可能となり、各建屋などの蛇口閉め忘れなどによる無駄な水道水の使用を防止できることなど、「水資源の管理」が可能となりました。

今後も当社は藤和那須リゾート株式会社と協力し、デジタルテクノロジーとデータの利活用による Society 5.0 の実現を目指します。また、azbil グループの理念である「人を中心としたオートメーション」の下、時代の変化に対応しつつ継続的に SDGs に取り組み、事業を通じた社会課題の解決、さらなる持続的な成長、企業価値の向上に努めます。

■ 当社クラウドサービスイメージ

那須ハイランド敷地内施設

水道使用量のデータを毎日検針

アズビル金門
クラウドサービス



藤和那須リゾート株式会社

水資源のデータを一括管理

- ・検針業務効率化
- ・使用量の透明性、信頼性を確保
- ・異常（漏水）などの早期発見



【画像提供：藤和那須リゾート株式会社】

■ 報道関係者からのお問い合わせ先：

アズビル金門株式会社 経営企画部広報グループ 電話番号：03-5980-3731 ak-publicity@azbil.com

当社ホームページ <https://ak.azbil.com/>

■ その他、ご質問等のお問い合わせ先：

アズビル金門株式会社 営業本部水機器営業部

電話番号：03-5980-3746

同 北関東支店

電話番号：0277-46-2271